

各位

会社名： ポラリス・ホールディングス株式会社
 代表者名： 代表取締役社長 田口 洋平
 (コード番号:3010 東証スタンダード市場)
 問合せ先： 取締役 兼 最高財務責任者 細野 敏
 (TEL:03-5822-3010)

ホテル運営状況に関するお知らせ(2025年8月度)

当社グループが運営するホテル(海外ホテル除く)の2025年8月度におけるホテル運営状況につき、宿泊部門の客室稼働率、ADR、RevPAR及びインバウンド比率を下記のとおりお知らせいたします。なお、過去の運営実績については当社ホームページ(https://www.polaris-holdings.com/ir_performance/)をご参照ください。

記

1. 国内全ホテル

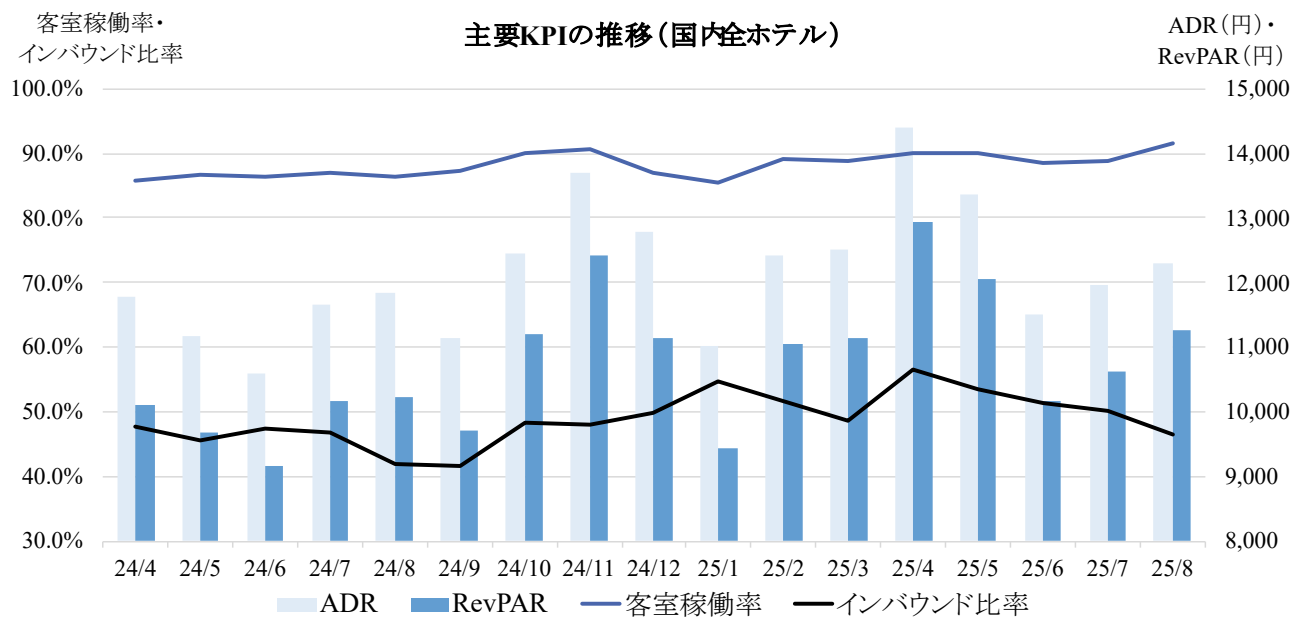
	当月 2025年8月	前年同月 2024年8月	増減数	増減率	当期累計 自 2025年4月 至 2025年8月	前期累計 自 2024年4月 至 2024年8月	増減数	増減率
全 66 ホテル								
客室稼働率	91.5%	86.5%	+5.0%		89.8%	86.5%	+3.3%	
ADR(円)	12,305	11,829	+476	+4.0%	12,702	11,411	+1,291	+11.3%
RevPAR(円)	11,257	10,232	+1,025	+10.0%	11,407	9,872	+1,535	+15.5%
インバウンド比率	46.5%	41.9%	+4.6%		51.5%	45.8%	+5.7%	

2. 運営状況の概要

日本政府観光局公表の訪日外客統計資料によると、2025年8月の訪日外客数は前年同月比16.9%増の3,428,000人であり、8月としては過去最高を記録しました。中国、台湾、東南アジア及び欧米からの訪日外客数が前年同月比で増加を継続する一方で、日本で7月に災害が発生するという噂がSNS等で広く拡散された影響が残った香港及びシンガポールからの訪日外客数は、7月に続き、減少を記録しました(香港 8.3%減、シンガポール 17.3%減)。

しかしながら、2025年7月の訪日外客数が前年同月比で減少していた国々(韓国、タイ、マレーシア、フィリピン)は、8月は前年同月比で増加に転じており、影響は一時的なものであったと当社は分析しております。

このような状況の中、RevPARは、関東エリアで前年同月比減少しましたが、他の全てのエリアで増加し、特に近畿エリアでは「EXPO 2025 大阪・関西万博」開催による宿泊需要を捉えて効果的なレベニューマネジメントを実施したこと、で、RevPARは前年同月比で28.6%と大幅な増加を実現しております。こうした、ポートフォリオの地域分散効果により、当社グループが運営する国内全ホテルのインバウンド比率は4.6%上昇し、RevPARは前年同月比で10.0%増加いたしました。



3. 国内ホテル エリア別

	当月 2025年8月	前年同月 2024年8月	増減数	増減率	当期累計 自 2025年4月 至 2025年8月	前期累計 自 2024年4月 至 2024年8月	増減数	増減率
北海道 (7 ホテル)								
客室稼働率	96.0%	94.9%	+1.1%		91.1%	87.8%	+3.3%	
ADR(円)	14,916	12,711	+2,204	+17.3%	11,981	10,216	+1,764	+17.3%
RevPAR(円)	14,314	12,063	+2,251	+18.7%	10,920	8,975	+1,945	+21.7%
インバウンド比率	28.8%	24.0%	+4.9%		29.2%	24.0%	+5.2%	
東北・北陸信越 (6 ホテル)								
客室稼働率	90.1%	89.3%	+0.8%		88.5%	87.6%	+0.8%	
ADR(円)	10,231	9,402	+829	+8.8%	9,276	8,992	+285	+3.2%
RevPAR(円)	9,215	8,394	+821	+9.8%	8,205	7,878	+328	+4.2%
インバウンド比率	23.3%	20.1%	+3.2%		27.6%	21.9%	+5.8%	
関東 (18 ホテル)								
客室稼働率	95.8%	94.2%	+1.7%		95.3%	94.5%	+0.8%	
ADR(円)	13,899	15,072	-1,173	-7.8%	17,371	16,271	+1,100	+6.8%
RevPAR(円)	13,322	14,195	-873	-6.2%	16,563	15,376	+1,187	+7.7%
インバウンド比率	68.1%	63.7%	+4.4%		72.9%	66.4%	+6.6%	
中部 (6 ホテル)								
客室稼働率	88.7%	74.5%	+14.2%		86.6%	77.9%	+8.7%	
ADR(円)	9,541	9,422	+119	+1.3%	9,553	8,449	+1,104	+13.1%
RevPAR(円)	8,460	7,020	+1,440	+20.5%	8,273	6,583	+1,690	+25.7%
インバウンド比率	41.9%	33.9%	+8.1%		50.2%	38.7%	+11.5%	
近畿 (15 ホテル)								
客室稼働率	90.4%	82.4%	+8.0%		90.2%	84.8%	+5.4%	
ADR(円)	11,856	10,110	+1,746	+17.3%	12,867	10,015	+2,852	+28.5%
RevPAR(円)	10,718	8,336	+2,382	+28.6%	11,602	8,491	+3,111	+36.6%
インバウンド比率	54.9%	49.2%	+5.7%		58.9%	54.5%	+4.4%	
中国・四国・九州 (14 ホテル)								
客室稼働率	87.5%	81.7%	+5.8%		85.4%	82.7%	+2.7%	
ADR(円)	11,564	11,144	+420	+3.8%	10,917	10,229	+688	+6.7%
RevPAR(円)	10,117	9,100	+1,017	+11.2%	9,325	8,463	+862	+10.2%
インバウンド比率	34.7%	32.2%	+2.5%		40.1%	36.7%	+3.5%	

- (注1) 2024年4月時点において運営を開始しており、かつ前月末日時点で運営を継続しているホテルを集計対象としています。前年度の各数値は、2025年3月期より連結対象となった株式会社ミナシアが運営していたホテルの数値を含みます。また、東日本大震災からの復興支援を目的とした社会貢献ホテルの「バリュー・ザ・ホテル」ブランドの4ホテルは集計対象外としております。
- (注2) 客室稼働率:対象期間の延販売客室数を同期間の延販売可能客室数で除した数値をいいます。
- (注3) ADR:平均客室販売単価(Average Daily Rate)をいい、対象期間の宿泊部門売上高合計(サービス料を含みます。)を同期間の延販売客室数で除した値をいいます。
- (注4) RevPAR:販売可能客室当たり宿泊部門売上(Revenue Per Available Room)をいい、対象期間の宿泊部門売上高合計を同期間の延販売可能客室数で除した値をいいます。
- (注5) インバウンド比率:対象期間の延宿泊者数に占める延外国人宿泊者数の比率をいいます。
- (注6) 客室稼働率、ADR、RevPAR及びインバウンド比率については集計対象ホテルの加重平均値です。
- (注7) 客室稼働率およびインバウンド比率については小数点以下第二位を、ADR及びRevPARについては小数点以下第一位を四捨五入して記載しています。
- (注8) 各エリア名の括弧内に当該エリアに含まれる集計対象ホテル数を記載しています。
- (注9) 上記の数値あるいは情報は監査等の手続きを経ていないため、個々の数値あるいは情報の内容の正確性・完全性について保証できるものではなく、今後修正される可能性がありますのでご注意ください。

(ご参考)

スポンサーであるスターアジアグループに属するスターアジア不動産投資法人が保有し、当社グループが運営するホテルについては、スターアジア不動産投資法人のホームページにおいて、当該ホテルの月次の運営状況が掲載されておりますので当該ウェブサイトをご参照ください。

スターアジア不動産投資法人ホームページ

<https://starasia-reit.com/ja/ir/index.html>

以 上